

広島赤十字 原爆病院



- 昭和14年 5月 日本赤十字社広島支部病院として開院
- 昭和18年 1月 広島赤十字病院に改称
- 昭和20年 8月 原爆爆弾により多大な被害を受ける
- 昭和31年 広島原爆病院が併設
- 昭和58年 9月 救急医療指定病院として、第二次救急診療を中心に始動
- 昭和63年 4月 二つの病院を統合し「広島赤十字・原爆病院」として新発足
- 平成 4年 5月 ICU・CCU新設
- 平成29年10月 グランドオープン

現在、2次救急指定医療機関、地域医療支援病院などの様々な指定を受けており、広島市の中核病院として地域医療に貢献しています

広島市中区千田町 1-9-6
(082) 241-3111

病院概要

病床数：565床

診療科目：34科

内科、肝臓内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、精神科、外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、リウマチ科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科診断科、放射線科治療科、麻酔科、緩和ケア内科、救急科、歯科口腔外科、病理診断科

特殊施設

健康管理センター、血液・腫瘍治療センター、肝臓センター

職員数：1294名

医師数：162名

診療放射線技師数：29名（男性23名・女性6名）

認定内容：

- 放射線治療専門技師：3名
- 医学物理士：2名
- 臨床実習指導教員：4名
- 第一種放射線取り扱い主任者：4名
- 第一種作業環境測定士：2名
- 放射線治療品質管理士：4名
- 医療画像情報精度管理士：1名
- 医療情報技師：1名
- 検診マンモグラフィー精度管理認定：5名
- 検診マンモグラフィー撮影技術認定：5名
- 血管撮影・IVR 専門診療放射線技師：2名
- X線CT 認定技師：3名
- 肺がんCT 検診認定技師：1名
- 医学物理士：2名
- 放射線機器管理士：1名
- 磁気共鳴専門技術者：1名
- 血管診療技師：1名
- 救急撮影専門技師：1名
- 下部消化器認定診療放射線技師：1名
- 胃がん検診専門技師：2名

当直・夜勤体制について

- 宿直：1名体制

導入機器

一般撮影

担当技師：4～5人 機器台数：4台

導入メーカー・機器名：CALNEO (FUJI FILM MEDICAL)

FCR VELOCITY (FUJI FILM MEDICAL)

1日平均撮影件数：155人

マンモグラフィ

担当技師：1人 機器台数：1台

導入メーカー・機器名：Senography Ds La Verite (GE Healthcare)

1日平均撮影件数：3人

ポータブル

担当技師：1人 機器台数：4台

導入メーカー・機器名：MobileArt II×2 (島津製作所)

MobileArt Evolution (島津製作所)

MobileDaRt Evolution (島津製作所)

1日平均撮影件数：38人

CT

担当技師：4人 機器台数：3台 (64列：3台)

導入メーカー・機器名：Light Speed VCT VISION (GE Healthcare)

Optima CT660 (GE Healthcare)

Revolution GSI (GE Healthcare)

1日平均撮影件数：84人

ワークステーション：VINCENT (FUJI FILM MEDICAL)

MRI

担当技師：3人 機器台数：2台 (1.5T：1台/3T：1台)

導入メーカー・機器名：Signa HDxt 1.5T (GE Healthcare)

Discovery MR 750w 3.0T

1日平均撮影件数：23人

ワークステーション：VINCENT (FUJI FILM MEDICAL)

SPECT

担当技師：2人 機器台数：2台
導入メーカー・機器名：Symbia T6 (SIEMENS)
 SKY light (HITACHI)
1日平均撮影件数：4人

血管造影

担当技師：2人 機器台数：2台
導入メーカー・機器名：INNOVA 4100iQ (GE Healthcare)
 Artis Zee BC (SIEMENS)
1日平均撮影件数：5人

透視装置

 機器台数：3台
導入メーカー・機器名：Sonial vision safire (島津製作所)
 Cvision safire (島津製作所)
 Sonial vision G4 (島津製作所)
1日平均撮影件数：8人

放射線治療

担当技師：5人 機器台数：2台
導入メーカー・機器名：Clinac iX (Varian)
 Clinac 2100 C (Varian)
1日平均治療件数：20人

骨密度

担当技師：1人 機器台数：1台
導入メーカー・機器名：PRODIGY-Advance (GE Healthcare)
1日平均撮影件数：7人

業務の取り組みや業務改善の紹介

当院には、医療安全体制の確立や医療機関事故防止活動を行う専門部署「医療安全推進室」があり、医療安全に関する現場の実態調査、予防活動への取り組みが行なわれています。研修会が行なわれ、医療安全の基本的な考え方や、事故防止の具体的な手法を周知しています。

医療安全の一環で放射線科でも患者本人に名乗っていただき、氏名の確認を行なっています。また、MRI、CT など造影剤を使う検査は、看護師と技師によりチェックバックを行ない、造影剤の選択ミスを防いでいます。

また、当院でも迅速院内対応システム（RRS：Rapid Response System）の運用を開始し、迅速対応チーム（RRT：Rapid Response Team）が発足されました。

RRS は、予期しない院内心肺停止が生じる前に早期に患者の異変に気づき、早期に介入することによって、患者の予後を改善しようとするシステムです。このシステムの導入により、Code Blue とまではいかない異変のある患者の対応が安全に行えるようになりました。実際、放射線科でも検査時、患者の異変に気づき、RRS の起動基準を満たしたため、RRT コールを行った事例もあります。

また、当院でもコロナ患者の受け入れを行っています。そのため、放射線科もレントゲン、ポータブル、CT などの検査、放射線治療、ERCP や PCI などの治療も対応しています。

ここ最近 5 年間の放射線科の移り変わり

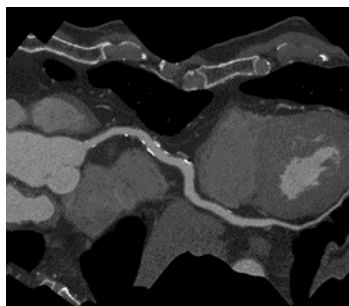
平成 29 年新棟開設に伴い、救急外来の隣に X 線装置、CT 装置が設置され、救急の検査を迅速に対応できるようになりました。また、救急科が追加されたことにより、救急患者の受け入れが増えましたが、隣接していることで救急外来の様子も分かりやすくなり対応しやすくなりました。

令和 3 年には新しく GE 社製、西日本初の最新 64 列 CT 装置 Revolution EVO が導入されました。

64 列 CT に AI 技術による画像化も可能になり、従来より X 線被ばく低減や画質改善が可能になりました。画像ノイズ低減と密度分解能を向上させる ASIR-V により被ばくを低減します。

モーションアーチファクトに起因する冠動脈のブレを低減する体動補正機能 Snap Shot Freeze により、さらに高精細な心臓画像の撮影が可能になりました。

画質向上効果により、今までより小さい病変を発見できる診断に役立つことができるようになりました。



地元紹介



広島観光名所といえば、宮島、尾道、鞆の浦などありますが、私のオススメしたい場所は

竹原市忠海町から船で10分ほどの大久野島（おおくのしま）です。

近年「うさぎの島」として知られ、わずか0.7平方キロメートルの島におよそ900羽のうさぎが暮らしている大久野島。コロナ前は海外から多くの方が押し寄せ、観光立国・日本の見どころのひとつでした。

この島は、かつて（昭和4年）当時世界的に禁止の方向へ進んでいた毒ガスを製造していました。この島で秘密裏に製造を開始し、地図からも姿を消しました。太平洋戦争中、多くの学生たちがその危険性も伝えられないで勤労奉仕を行ない、命を奪われ、また後遺症に苦しみ、のちに加害の記憶にも悩まされました。

そして、製造された毒ガスは実際に使用され、罪のない多くの人の命をも奪いました。

島内には今も当時の貯蔵庫、発電所、砲弾跡などが点在し、資料館には毒ガス製造の資料や多くの犠牲者を出した悲しい事実を伝えています。

『うさぎの島』と『地図にない島』 大久野島は日本が歩んできた光と影を映し出した場所ではないかと思えます。